



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 木曽路

コード番号 8160 URL <http://www.kisoji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 服部 昭仁

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 052-872-1811

平成25年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,335	1.2	773		734		606	
25年3月期第2四半期	20,586	4.1	847		811		628	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	23.49	
25年3月期第2四半期	24.33	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	37,507		28,922		77.1
25年3月期	39,467		29,702		75.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 28,922百万円 25年3月期 29,702百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		7.00		7.00	14.00
26年3月期		7.00			
26年3月期(予想)				7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,800	0.9	1,500	0.3	1,570	4.1	720	2.6	27.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	25,913,889 株	25年3月期	25,913,889 株
期末自己株式数	26年3月期2Q	74,743 株	25年3月期	74,224 株
期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	25,839,354 株	25年3月期2Q	25,840,360 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年4月26日に公表いたしました業績予想は、平成25年10月23日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正しております。  
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第2四半期累計期間)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成26年3月期	20,335	773	734	606	23.49
平成25年3月期	20,586	847	811	628	24.33
増減率(%)	1.2	-	-	-	-

当第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和による円安、株価の上昇など景気回復の兆しがみられるものの、実体的な経済への波及は限定的であり先行きは依然不透明な状況で推移しました。

個人消費に関しましては、株価上昇による資産効果や景気回復への期待から高額商品の消費が堅調に推移する一方で、所得・雇用環境の改善が足踏みし本格的な回復には至らず、慎重な消費行動で推移しました。

外食業界におきましては、消費マインドの改善から一部に回復の兆しがみられるものの、円安による原材料価格の上昇や光熱費の値上がりなど先行きは不透明感が残り、経営環境は依然厳しい状況で推移しました。

このような経営環境の中で当社は、2店舗の新規出店、1店舗の改築、1店舗の改装、1店舗の業態転換(素材屋からウノ)及び2店舗の退店を実施し、その結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は172店舗(改築中1店舗、業態転換のため改装中1店舗を含む)となりました。

営業面では、旬の料理の提供など料理・サービスの充実に努め、また、春の歓送迎会、GW、夏休みや季節の行事などのイベントを中心に販売促進活動を実施しましたが、前事業年度のポイント制度変更による反動もあり、売上高は前年同期に比べ減少しました。

費用面では、一部の原材料費の値下がりやポイント制度変更に伴う販売促進費が減少した一方で、光熱費の値上がりや厳しい採用環境のなか募集費の増加を余儀なくされました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は203億35百万円(前年同期比1.2%減少)、営業損益は7億73百万円の損失(前年同期実績8億47百万円の損失)、経常損益は7億34百万円の損失(同8億11百万円の損失)、四半期純損益は6億6百万円の損失(同6億28百万円の損失)となりました。

(部門別の概況)

部門別売上高

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比 増減率(%)
木曾路	16,717	2.3
素材屋	1,683	10.2
鈴のれん	694	18.1
とりかく	510	2.8
じゃんじゃん亭	471	2.8
その他	258	693.0
計	20,335	1.2

### 木曾路部門

しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曾路」部門は、1店舗の新規出店、1店舗の改築、1店舗の改装及び1店舗の退店により、当第2四半期会計期間末店舗数は118店舗(改築中1店舗を含む)となりました。

営業面では、春の歡送迎会、GW、夏休みや季節の行事などのイベントと恒例の「しゃぶしゃぶ祭り」を実施するとともに旬のメニューや一品料理の充実にも努め、また、幅広いお客様のニーズに合わせた新メニューを投入しました。しかしながら、既存店の売上高は前事業年度のポイントカード制度変更による反動もあり、前年同期を上回ることができませんでした。その結果、売上高は167億17百万円(前年同期比2.3%減少)となりました。

### 素材屋部門

居酒屋の「素材屋」部門は、2店舗の退店(素材屋からウノへの業態転換1店舗を含む)により、当第2四半期会計期間末店舗数は23店舗となりました。

営業面では、コアメニューの串焼きの拡販、旬メニューや焼酎のお値打ち販売並びに平日限定フェアの実施により来店客数の増加に努めましたが、既存店の売上高は前年同期を下回りました。また、前年同期末と比べ3店舗の退店が響き、売上高は16億83百万円(同10.2%減少)となりました。

### 鈴のれん部門

和食レストランの「鈴のれん」部門は、店舗の異動はなく、当第2四半期会計期間末店舗数は9店舗であります。

営業面では、メニュー改定や接客サービス、販売促進活動の見直しなどを行うとともに、従業員の技能向上や店舗管理力の向上など体制強化に努めました。当部門は、前年同期末と比べ1店舗増加し、売上高は6億94百万円(同18.1%増加)となりました。

### とりかく部門

鶏料理の「とりかく」部門は、店舗の異動はなく、当第2四半期会計期間末店舗数は10店舗であります。

営業面では、宴会メニューの充実やこだわりの旬の一品提供などを行った結果、既存店の売上高は前年同期を上回り、売上高は5億10百万円(同2.8%増加)となりました。

### じゃんじゃん亭部門

焼肉の「じゃんじゃん亭」部門は、店舗の異動はなく、当第2四半期会計期間末店舗数は8店舗であります。

営業面では、学生のイベント等に合わせ予約獲得活動を強化し、また、お誕生日会員の登録やスタンプカードによる再来店を促し客数の回復に努めた結果、既存店の売上高は前年同期を上回りましたが、前年同期末と比べ1店舗減少しており、売上高は4億71百万円(同2.8%減少)となりました。

### その他部門

その他部門は、ワイン食堂「ウノ」、外販(しぐれ煮、胡麻だれ類)、不動産賃貸等であります。このうち、新規開発部門のワイン食堂「ウノ」は1店舗を新規出店し、当第2四半期会計期間末店舗数は4店舗(業態転換のため改装中1店舗を含む)となりました。

その他部門の売上高は2億58百万円(同693.0%増加)であります。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度末	当第2四半期 会計期間末	増減
総資産(百万円)	39,467	37,507	1,960
純資産(百万円)	29,702	28,922	779
自己資本比率(%)	75.3	77.1	-
1株当たり純資産(円)	1,149.49	1,119.34	30.15

当第2四半期会計期間末の総資産は、375億7百万円で、前事業年度末比19億60百万円の減少となりました。主な減少は、設備投資、賞与、配当金、法人税等の支払で預金を取り崩したことによるものであります。負債は、85億84百万円で、前事業年度末比11億81百万円の減少となりました。主に法人税などの未払税金や買掛金が減少しました。また、純資産は、289億22百万円で、前事業年度末比7億79百万円の減少となりました。これは、主として、四半期純損失6億6百万円、剰余金の配当1億80百万円によるものであります。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の自己資本比率は77.1%、1株当たり純資産は1,119円34銭となりました。

### キャッシュ・フローの状況

(第2四半期累計期間)

	平成25年3月期 (百万円)	平成26年3月期 (百万円)	増減 (百万円)
営業活動による キャッシュ・フロー	436	1,111	675
投資活動による キャッシュ・フロー	690	656	33
財務活動による キャッシュ・フロー	282	276	5
現金及び現金同等物の 四半期末残高	10,439	11,022	-

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが11億11百万円の流出超過(前年同期は4億36百万円の流出超過)となりました。主な内容は、税引前四半期純損失8億21百万円、減価償却費6億75百万円、法人税等の支払額6億57百万円であります。投資活動によるキャッシュ・フローは、主として新規出店・改築・改装等による投資により6億56百万円の流出超過(前年同期は6億90百万円の流出超過)、財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済、配当金の支払等で2億76百万円の流出超過(前年同期は2億82百万円の流出超過)となりました。

この結果、当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は前事業年度末比20億44百万円減少し、110億22百万円となりました。

### (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年4月26日に公表した業績予想を平成25年10月23日付で次の通り修正しております。なお、詳細につきましては、平成25年10月23日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(通期の業績予想数値の修正)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	47,000	2,000	2,070	1,000	38.70
今回修正予想 (B)	45,800	1,500	1,570	720	27.86
増減額(B-A)	1,200	500	500	280	-

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,066	11,022
売掛金	1,018	746
商品及び製品	24	35
原材料及び貯蔵品	454	668
その他	882	1,155
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	15,445	13,626
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,526	8,290
土地	5,637	5,637
その他(純額)	1,652	1,821
有形固定資産合計	15,816	15,749
無形固定資産	269	239
投資その他の資産		
差入保証金	5,251	5,181
その他	2,711	2,728
貸倒引当金	27	18
投資その他の資産合計	7,936	7,891
固定資産合計	24,022	23,880
資産合計	39,467	37,507

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	1,268	1,071
短期借入金	950	950
未払法人税等	730	122
賞与引当金	494	578
その他の引当金	65	94
その他	2,774	2,390
<b>流動負債合計</b>	<b>6,283</b>	<b>5,207</b>
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	1,479	1,478
資産除去債務	1,358	1,342
その他	644	555
<b>固定負債合計</b>	<b>3,482</b>	<b>3,376</b>
<b>負債合計</b>	<b>9,765</b>	<b>8,584</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	9,875	9,875
利益剰余金	9,728	8,941
自己株式	113	114
<b>株主資本合計</b>	<b>29,547</b>	<b>28,758</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	155	164
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>155</b>	<b>164</b>
<b>純資産合計</b>	<b>29,702</b>	<b>28,922</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>39,467</b>	<b>37,507</b>



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	20,586	20,335
売上原価	6,592	6,475
売上総利益	13,994	13,860
販売費及び一般管理費	14,841	14,633
営業損失( )	847	773
営業外収益		
受取利息	12	9
受取配当金	9	10
協賛金収入	15	5
その他	8	23
営業外収益合計	45	49
営業外費用		
支払利息	4	4
寄付金	1	-
貸借契約解約損	-	6
会員権評価損	2	-
その他	1	0
営業外費用合計	9	10
経常損失( )	811	734
特別損失		
固定資産除却損	63	28
減損損失	12	59
特別損失合計	76	87
税引前四半期純損失( )	887	821
法人税、住民税及び事業税	60	58
法人税等調整額	319	272
法人税等合計	259	214
四半期純損失( )	628	606

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失( )	887	821
減価償却費	688	675
減損損失	12	59
売上債権の増減額( は増加)	132	272
たな卸資産の増減額( は増加)	76	224
仕入債務の増減額( は減少)	131	196
その他	90	267
小計	199	504
利息及び配当金の受取額	21	20
利息の支払額	4	4
法人税等の支払額	253	657
その他	0	33
営業活動によるキャッシュ・フロー	436	1,111
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	706	661
差入保証金の回収による収入	127	152
その他	110	148
投資活動によるキャッシュ・フロー	690	656
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	180	180
その他	101	95
財務活動によるキャッシュ・フロー	282	276
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	1,409	2,044
現金及び現金同等物の期首残高	11,848	13,066
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,439	11,022

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。